

大学院生リサーチ・アソシエイト公募に関する Q & A

<応募について>

Q1：私は学生ですが、応募をする場合は理研研究者への連絡と応募ではどちらを先にすべきですか？

A1：応募書類の Form 1 は理研の希望研究室主宰者（PI）からの提出が必須です。まずは希望の受入研究室の PI と大学の指導教員に JRA への申請について相談をしてください。

Q2：私は学生ですが、どの応募カテゴリーに該当するかわかりません。

A2：受入希望研究室主宰者（PI）と大学指導教員にどのカテゴリーで申請するかを相談してください。

Q3：私は学生ですが、所属する大学院は理研の研究センターと連携大学院協定を締結しているようです。連携大学院カテゴリーでの申請資格はありますか？

A3：連携大学院カテゴリーでの申請には、大学の指導教員が理研の研究者である必要があります。ご自身の指導教員が理研研究者（常勤）でない場合、共同研究もしくは研究協力協定カテゴリーでの申請ができます。まずは、大学の指導教員と理研の希望研究室主宰者（PI）に申請の相談をしてみてください。

Q4：共同研究カテゴリーもしくは研究協力協定カテゴリーで申請するには、候補者（大学院生）の本務先研究室と理研の受入研究室もしくはセンター間に、共同研究契約もしくは研究協力協定が締結されている必要がありますか？

A4：未締結でも応募できますが、共同研究契約または研究協力協定が、採用日までに締結されている必要があります。

Q5：共同研究契約や研究協力協定を締結する予定ですが、まだ締結できていません。応募できますか？

A5：採用日（関連質問：Q3）までに締結されていれば結構ですので、応募できます。

Q6：候補者は連携大学院生です。大学での指導教員は理研の連携大学院教員ですが、この連携大学院教員以外の研究室で研究することを前提に申請できますか？

A6：できます。この場合、申請者は候補者が研究を行う研究室の主宰者となりますが、申請カテゴリーは共同研究カテゴリーもしくは研究協力協定カテゴリーとなります。

Q7：候補者は連携大学院に在籍していますが、指導教員は理研研究者ではありません。申請できますか？

A7：共同研究カテゴリーもしくは研究協力協定カテゴリーに該当していれば申請できます。

Q8：希望する理研の研究室が二年後に終了予定です。候補者は研究室を変更することができますか？

A8：研究室を変更することができます。ただし、事前に受入研究室主宰者と大学側の指導教員と三年目はどうするかをご相談ください。受入研究室主宰者（PI）は移動先 PI と確認し、指導担当研究者意見書及び育成計画（Form 1）に記載いただく必要があります。

Q9：大学が基本協定を理研と締結しています。研究協力協定カテゴリーで応募可能ですか？

A9：基本協定を締結していれば、研究協力協定カテゴリーでの応募も可能です。ただし、基本協定では細かい知財等の取決め等がありませんので、採用予定日（採用年度の 4/1 または 10/1）までに共同研究契約を締結することでもよろしいかと思います。
受け入れを希望されている理研の研究室主宰者（PI）に、どのカテゴリーで応募するのがよいか、よくご相談ください。

Q10：JRA の倍率は厳しいですか？教えてください。

A10：倍率は非公開ですのでお答えすることができかねます。まずはご応募を積極的にご検討いただければ幸いです。

Q11：JRA 以外の制度と同時採択は可能ですか。

A11：JRA の制度としては、他機関からの奨学金等の受給を妨げませんが、支給機関の規

程にて他の奨学金との併給や報酬を伴う活動を制限している場合があります。

従いましては、まずは支給機関に、JRA の活動（1 日 5 時間、週 25 時間勤務。本給月額 25 万円）をしていても受給することに問題がないか確認してください。また、応募の際は、他のフェローシップ・奨学金制度等とは別の研究課題で申請してください。

Q12：大学院の入試が 10 月上旬、合格発表は 11 月上旬ですが、発表前に応募申請をしてもよいでしょうか？

A12： 応募対象者は採用年度 4 月 1 日現在、日本の大学院博士（後期）に在籍予定、または在籍する者としておりますので、可否発表を前に申請していただいて構いません。

<申請書について>

Q13： Form3 発表論文等研究業績 1) 学会誌等における誌上発表という項目において、現在投稿中の論文を載せることは可能ですか？また、ポスター発表はこの項目に記載してもよろしいですか？

A13：受理前の論文は載せられません。

※ 投稿し、受理された場合は「印刷中」と注記してください。なお、審査中に雑誌等に掲載されても審査書類の差し替え、訂正等はい行いませんので予めご了承ください。

ポスター発表については同 Form3 3) 学会等におけるポスター発表へ記載してください。

Q14: 「発表論文がある候補者は、代表的な論文（3 編以内。修士論文は除く）」に関して、「候補者が中心的な役割を果たした発表論文に限る」とのことですが、共著者として掲載されている論文は該当しますでしょうか？

A14：「発表論文がある候補者は、代表的な論文（3 編以内。修士論文は除く）」ですが、必ずしも提出しなければならないものではありませんが、候補者が中心的な役割を果たした論文でしたら、提出いただければと思います。

なお、共著者の場合は、（候補者の発表論文等研究業績 1 部（Form3））に該当する論文を記載いただく際に、共著者として果たした役割を簡潔に記入いただくと、より良いかと思ひます。

Q15: 私は現在 D1 です。採用されると D2 からの開始となります。1 年目～3 年目の研究計画の概要（Form 4）はどのように記載すべきですか？

A15：JRA として採用された場合の 1 年目～3 年目の研究計画をご記入いただきたいので、1 年目=D 2、2 年目=D 3 でお書きいただければと思います。

「3 年目」の記載は、削除いただいて構いません。あるいは採用前～1 年目として、採用前の研究計画もご記載いただいても構いません。

Q16: 10 月からの採用を希望しています。申請書類に明記する必要はありますか？

A16：Form 4 研究計画の概要に 4 月 1 日採用・10 月 1 日採用のいずれかを○で囲うよう指示しておりますので、10 月 1 日採用を○で囲い提出してください。

<その他、提出書類について>

Q17: 学業成績証明書ですが、デジタル版は直接受取者にメールで送信されることになっています。どのようにして提出すればいいですか。

A17：基本は学業成績証明書を指定 URL にアップロードしていただきたいのですが、不可能な場合は JRA のメールアドレス (jra@ml.riken.jp) にお送りいただき、件名に氏名と申請時に付与される応募番号を明記しお送りください。

Q18：成績通知表という PDF のダウンロードが可能なのですが、提出はこちらのものは不十分でしょうか？

A18: 大学が発行する学業成績証明書のご提出をお願いいたします。

(その他制度について)

Q19: 家賃の補助はありますか。

A19：家賃の補助はありません。

Q20: 週 5 日勤務ではなく、週 4 日勤務として、給与を減らしたいです。可能ですか？

A20：JRA は基本週 5 日勤務です。

週 5 日（月曜日から金曜日、1 日 5 時間・午前 9 時から午後 4 時 50 分までの範囲内で以下より選択。）

午前 9 時～午後 2 時 50 分、午前 10 時～午後 3 時 50 分、または午前 11 時～午後 4 時 50

分（昼休み 12 時 00 分～12 時 50 分）

ただし、週 3 日、週 4 日勤務を希望する場合は、Form 4 の研究計画の概要に理由とその勤務日数に見合った研究計画を記載してください。その研究計画で採用された場合のみ、週 3 日、週 4 日勤務を行うことが可能となります。